

2025 年の寒露は 10 月 8 日です。

「寒い露」と書くように「冷たい露が降りる時期」という意味が込められています。この時期になると朝晩の冷え込みはきつくなりますが、日中に晴れた日は空気が澄んだ秋晴れの過ごしやすい日が多くなります。雨が繰り返すたびに、朝晩はぐっと冷え冬に近づいていきます。

五穀の収穫で農家は繁忙期となり、実りの秋の味覚が充実していきます。また、この時期は夜空が深く、月や星が美しい頃とされています。



1 日の終わりに、ほっと一息。夜空を見上げてみませんか。

寒露の時期に行われる行事に神嘗祭（かんなめさい）があります。

伊勢の神宮で、例年 10 月 15 日～17 日に開催されます。

その年に収穫した新穀を天照大御神に捧げ、御恵みに感謝するお祭りです。

神嘗祭は、天照大御神が神々の住む天上の高天原（たかまがはら）で、初穂を食されたという神話に由来するといわれ、「日本書紀」によると、この国の稲作は天照大御神から授けられた稲穂により始まったと記されています。

歴代の天皇陛下は、この地にお米の恵みを伝えてくださった皇祖とされる天照大御神に感謝を捧げ、その年の初穂を奉納します。「神嘗祭」「新嘗祭」の一連の行事です。

11 月 23 日に行われる新嘗祭（にいなめさい）は「しんじょうさい」ともいい、「新」は新穀（初穂）、「嘗」はお召し上がりいただくこと・御馳走を意味します。



神嘗祭と同じ五穀豊穡の収穫祭にあたりますが、新嘗祭では天皇陛下が初穂を神々にお供えし五穀豊穡に感謝を捧げ祈念します。

神嘗祭と新嘗祭の主な違いは、新嘗祭では天皇自ら新米を召し上がると言うのが神嘗祭との大きな違いになります。

古くより日本にとって、大切にされてきた神嘗祭と新嘗祭。

新米の季節になりますが、食への感謝を込めて、おいしく召し上がりたいですね。

秋の山 静かに雲の 通りけり

夏目漱石

秋の山々を静かに流れていく雲の様子を詠んだものです。

紅葉した山の上を、静かに雲が通り過ぎていく美しい情景が目に見えぬ俳句です。